

(議長)

次に「大門議員」の発言を許可します。

「大門議員」

「大門議員」

私の方から早速質問させていただきます。

1 問目ですが、町長の執行方針についてですが。

開陽丸含む周辺環境についてその中で町長は22年度経営改善、管理棟の有効活用を検討。23年度は港オアシス事業のなかで開陽丸管理棟の改修や上町・下町の街区で繋ぐハードな面の実施。24年度、今年は開陽丸管理棟がリニューアルされ、仮称「えさし海の駅開陽丸」とオープンするというふうにおっしゃっております。その中で港を中心とした新たな賑わいの創出と位置付けし、またぷらっと江差が中心となり売店等を実施すると。今年は正しく町長がここ数年来、開陽丸周辺についておっしゃってきた事に対してのある程度の集大成が始まるのではないかと考えております。町長がハードな面ではここ何年かけてやってきました。今年はこれに息を入れるソフトの部分になると思います。その中で健全経営に向けての計画、青写真、今後の進め方をお尋ねします。さらに江差町の観光施設の拠点でもあり、観光客の集客としても大きな役割を担うものと思いますので、以上のことを踏まえ経営責任者は常駐されるのかどうかお伺いします。

もう1つ町長執行方針の中でですが、23年度に養護老人ホームについて「老朽化により大規模な改修が必要。民間企業の参入も視野に入れ検討」とありましたが。前にも私はこの事に関して質問させていただきましたが、23年度もう終わるところですが、この間何か検討されて方向性が決まっているのかどうか。進捗状況あるのかどうかお尋ねします。

高齢者の方々は現状で生活することの不安。70歳までは考えなかった事が、日常生活の不安が大きくなって、今は80を過ぎると養護老人ホームへと考え方をする方が多くなっています。地方にいる子供達より生まれ育った所で老いを迎えたいと切実になってきている状況の中で一定の方向を早期に示すべきだと思いますが、町の考え方を伺います。以上です。

(議長)

「町長」

「町長」

初めに開陽丸含む周辺環境づくりについての質問でございます。

本町の観光や産業の振興にとって重要なものと続けておりますが、ご案内の通り開陽丸青少年センターは一昨年10月に公益法人制度改革に基づく一般財団法人への移行を無事に済ませ、この間、周辺の賑わいづくりのため各種の事業を展開してきたことは議員も御承知の事と存じます。

また管理棟につきましては、今月末には改修を終え、当該施設を活用しての飲食物販事業者についても過日「ぷらっと江差」に決定させて頂いたところがあります。

このような中、先般、江差港マリーナを中心とした周辺一帯を北海道運輸局が所管する「海の駅」として登録申請中であり、首尾よく手続きが完了した際には本年4月には名称が「えさし海の駅開陽丸」として新たなスタートを切ることとなり、これまでの研修施設の要素の管理棟から「海の駅」という観光案内は元より、物産や土産品などを購入できる場所となり、従前よりさらに賑わいが創出されることを期待しているところであります。

議員ご指摘の開陽丸の健全経営に向けての計画等につきましては、平成22年3月に作成した経営改善計画に基づき入館者の安全確保の観点から、開陽丸センターへの甲板などの改修を実施済みでありますし、また、現在取り進めている管理棟のリニューアルによる収益事業も併せて、入館者の増を図るため入館料の検討など財団の健全運営を目指しているところであります。「えさし海の駅開陽丸」を起点に、今後は関係機関や団体等を巻き込みながら各種のソフト事業の展開を図りつつ、本町の観光や産業の拠点施設なりを努めて参ります。

最後に「経営責任者の常駐は」とのご指摘でございますが、平成21年10月から不在であった常勤環境についてであります。最終的には財団の理事会・評議委員会での議決事項となりますが、4月から館長を置く事で考えております。

1問目のうちの2問目、養護老人ホームの件ですが。養護老人ホームの運営の在り方等を含めた質問であります。昨年の3月定例会で大門議員からの一般質問でも同様の質問がございましたが、議員ご指摘のとおり施設の老朽化により大規模改修が必要な時期にきており、更にはプライバシー保護の問題等においても利用者のニーズに相応しくない施設環境下から自由環境の改善が望まれております。民間事業者から施設の改善と運営委託につき相談を受けることもございましたが、多額な改築財源の調達については必ずしも明確なお考えを持っていない事や、老人ホーム運営につきましては民間移譲後に少なくとも1年間以上の経営実績を必要とし、その後改築計画と許可申請を行う旨の指導があるため条件面においてハードルが高いという理由で具体化に向けた話が進まないというのが実態でございます。今後におきましても、民間運営を基本としながら方向性を見出せるよう協議・検討して参りますので、ご理解を頂ければと

思います。

**(議長)**

「大門議員」

**「大門議員」**

1 問目の開陽丸の件に関しましては、私も今 1 番心配していた経営管理者が 4 月から置かれるという事でしたので、少し落ち着いて。これ施設も今度一本化されるんですよ。今までだとかっちは水産の部分だとか、こっちは商工だとか企画だとか、色々ありましたけれども、今度は経営管理者を置く事によって 1 つの施設の中で一本化されて運営されていくんですよ。そのことをちょっと確認させていただきます。

**(議長)**

「政策推進課長」

**「政策推進課長」**

大門議員。まず館長は町長言った通り、今月中に理事会や評議委員会を得て最終決定ですけれども置く考えであるということ。

ただ一本化というのは、例えばマリーナの管理は水産の部分ですが指定管理を受けて開陽丸がやっている。それからいわば物産。出展する「ぷらっと江差」は去年までは商工で持っていたのですが、現在政策で持っておりますので、今度は管理棟の中に出展組合として入る訳ですから、それらの部分は政策と連携した中にありますけれども、トータルとして経営上の全てを見渡せる部分として館長が置かれると。こういう中身でございますので、そんな点で宜しいですか。

**(議長)**

「大門議員」

**「大門議員」**

2 問目ですが。

町の公共施設である文化会館についてですが、私は一般質問の所で全面改修という形を書かせて頂きましたが、私の言っている全面改修というのは主たるのは屋上防水ですね。というのは、私はこの屋上防水。雨漏りが全体的に劣化している状況にあるというふうに私は見ているのですが。これをある程度漏ったから、雨漏りがしたから直すと言っているのでは遅いと思います。ですから

この辺を調査して、いつ頃に直すということをきちんとしていかなければ、雨漏りというのは見えてきた頃には遅いですね。建物の中の構造をかなり劣化させてしまう事があるので、できるだけこの防水工事もやるとすれば1千万、2千万でやれるような代物ではないと思っています。文化会館はやっぱり町の施設として文化の活動の面でも大きな役割を担う所でありますので、確かに今江差町は江差小学校の耐震工事、江差中学校の改修工事と財政面にも負担が起きています。その中で文化会館のこの関係をどのような時期、どのように押さえているかお尋ね致します。

**(議長)**

「教育長」

「教育長」

文化会館の修繕に関するご質問でございました。

議員ご承知のとおり、文化会館は平成2年完成以来、20年以上が経過しているために各種設備あるいは建物本体に劣化が進んでいる状態である事は認識を致しているところでございます。設備の修繕に関しましては、法定点検による指摘事項を最優先にこれまでも色々な交付金あるいは一般財源等を活用しながら随時修繕しているところでございまして、平成23年度では電気設備やボイラーの改修と加圧給水ポンプの取り換えなどを実施して参りました。

ご質問にございました屋上部分に関しましては、アスファルト防水という工法で屋上のフラット部分で施行されておりますが、現在劣化が影響されるという事で雨漏りの確認はされていない状況にございます。建物である以上、いずれ修繕の必要は訪れることとは思いますけれども、随時補修をしながら維持して参りたいと考えておりますのでご理解を頂きたいと思っております。

「大門議員」

分かりました。

**(議長)**

大門議員。3問目。

「大門議員」

3問目ですが、高齢化と除雪対策についてですが、今年は例年になく積雪により建設課、環境住宅課、他の課の職員も駆り出され町民からの苦情対応に職員も追われているという状況で私は見受けておりました。その中で町の高齢化

の実情が改めて浮き彫りになったのではないかと私は感じました。先ほど小野寺さんからの質問にもありましたけれども、この高齢化の人方を今後どういうふうに見守っていくのか。見守りということにもなりましょうか。安心、安全な生活をしていくためにもどこに電話をかけていいのか分からない人方が殆どですよ。まだここに、町に苦情を言える人方は本当に良い方です。でもどこに言ったらいいか分からないという事で、私も2～3人、本人ではなくて知り合いの人から電話の相談がきたりということで「こういう所でこういう人がやって頂けますよ」と「相談してみたいかどうでしょうか」とそういう事をさせて頂きましたけれども、やはりその辺の状況をどのように捉えているかという事をお尋ねします。

(議長)

「町長」

「町長」

毎年12月から3月までの間降雪のあった日に、一人暮らしの高齢者世帯などの玄関前を除雪するサービスを実施しておりますけれども、今年は例年になく積雪量が多く前年比14件増の176件の除雪サービス利用者数となっております。積雪が多い土地に加え、当町の高齢化率が約3割となっている現状が利用数の増あると考えているところで、一方で除雪サービスに協力頂いている高齢者事業団や町内会等の除雪の担い手不足や、担い手の高齢化などと除雪する担い手の確保が大きな課題となっております。除雪対応が困難な町内会もあるところです。札幌市と都市の状況を見聞するに、1戸あたり年間業者と契約を交わしているという、除雪をしているという実情もあるようでありますので、今後、民間事業者などによる委託方法等、人材確保等、利用料金の形態や委託料の見直し等も含めて来期に向けて除雪サービスについて検討して参りたいと思っております。

(議長)

「大門議員」

「大門議員」

方向性は分かりました。それで一番大事な事が、この一人暮らしの方々にこういうことがきちんとあるという事の周知徹底を図っていく。先ほどちょっと防災のことも言っていましたけれども、これを意外と、確かに町の方では広報でもお知らせしたり、町内会とも連携を取ってと言いますけれども、この町内

会にも属していない方もたくさんいらっしゃるんですよ。隣近所つきあいの無い方もいらっしゃるんですよ。江差でも都会ではなくてそういう事が起きています。この辺の所のきちんとした把握を私は町内会だけではなく、町もその実態、町内会とあるかどうかという事の実態調査をきちんとした上で、相対的な物の見方を、連絡を周知させるという事をしていかなければ抜本的な改革にならないと思いますが、この辺の事を再度お願いします。

(議長)

「町民福祉課長」

「町民福祉課長」

今大門議員からありましたけれども、正に先程からやり取りしております日常の見守りというのは必要だという事です。近所の方々が、地域の方々がそういう助け合い、支え合っていかなければならないと考えております。

それで今、除雪サービスの面で絞られてのご質問でしたけれども、そういう事もありますので日常の見守りの中で一人暮らしの実態をきちんとして把握して、そういう資料も活かしていきたいと考えております。それも併せて医療と除雪サービスのこれからのあるべき方向、仕組みを考えていきたいと思っております。

「大門議員」

はい、分かりました。

(議長)

次、4番目。

「大門議員」

4番目ですが、教育長にお尋ねします。

教育長の執行方針の中で、先程小野寺さんが災害の事を言っていましたけれども、私は児童のことで、防災教育の推進について。

昨年の3・11の教訓を「あらゆる災害を想定した危機管理マニュアルの見直し、学校における安全体制の一層の充実に努める」とありましたが、実際にこれに対しての実施計画があるのかどうかお尋ねします。

(議長)

「教育長」

## 「教育長」

大門議員さんからの4番目の防災教育の推進ということでご質問がございました。

実施計画があるのかというご質問でございますが、各学校においては防災計画・防災規定・危機管理マニュアル等、名称は統一されておられませんけれども、災害に対する為の実施計画はございます。

また、各学校においては、従来から消防法に規定される消防計画やそれに基づく避難訓練を火災や地震を想定し毎年実施をしております。しかしながら、今議員もおっしゃったように昨年も東日本大震災においては、地震に引き続く巨大津波による被害が苛烈を極めた事もあり、従来の地震や火災の他に津波に対する対応を準備することが必要であると教育委員会としても痛感した所であり、早速、校長会や教頭会においても情報交換あるいは検討協議を実施してきており、各学校にあらゆる災害を想定した危機管理マニュアルの見直しを指示し、学校における安全体制の一層の充実に努めるよう指導を行ってきたところでございます。

また、災害は学校内の児童生徒が学校内にいる時間において起きるというものではなく、学校外の時間においても起こることから今回の震災で言われた「津波てんでんこ」の教えのとおり、日常から災害に対する児童生徒への防災教育を家庭の協力も得ながら、強力で推進していくことも学校に指示をしておりますので、ご理解を頂きたいと思っております。

## 「大門議員」

学校の方に指導していくという事でしたけれども、実際昨年度あたりは、この事を踏まえて子供達に時間的に、勉強の学習時間の中で取って行ったという実績はあるのでしょうか。その辺の事をお伺いします。

## (議長)

「学校教育課長」

## 「学校教育課長」

先程の答弁にもありました通り、火災とか地震の為のという事で大体年2回くらい授業時間中にやっております。北小中では小中一貫という事もあって、小学校と中学校合同でやったりとか、昨年度、消防からのファイアーマン授業という事があって実際に東日本大震災の救援に向かった方から、防災訓練の際に「こんな状況であった」という事も含めて児童生徒の指導に努めた所でございます。以上です。

(議長)

以上で「大門議員」の一般質問を終わります。